

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	国分寺市家庭教育支援チーム (呼称: 国分寺市家庭教育支援チーム「プレイセンター小さな森」)
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	代表者自宅。もとまち地域センター
活動範囲	第一小学校区, 第四小学校区
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>9</u> 人 心理カウンセラー 2人, 民生委員 1人, 元幼稚園教諭 2人, 元保育士 2人, おもちゃコンサルタント 2人。
具体的な活動内容	<p>①豊かな遊びの提供-15種類の遊び(テキスト参照)を親子で。室内遊びは、良質な木のおもちゃを提供→玩具の貸し出し, おもちゃの広場(地域の子達へも)。本好きな子への願いから, 絵本の貸し出し, 読み聞かせ(毎回の活動の中で)。</p> <p>②ステップアップママ(お母さんの勉強会)-テキストを中心に子育て(子供への対応)を学ぶ他, 子育て相談, 会の運営や行事等について話し合う。</p> <p>③みんなで運営-②で話し合ったことを具体的(内容, 役割分担)に決めて実施(参加しているみんなで運営)していく。①~③が活動の3本の柱。</p>
活動を通して感じていること (成果、課題など)	<p>①の活動の中での, おもちゃの広場→テレビやゲームの他にも楽しい遊びがある。←ここを提供。年齢に合った良い玩具があれば, 良く遊ぶ事が分った。今後は, 小学3年生位迄, 年齢幅を広げた玩具を提供していく。</p> <p>②から, 子育て相談の中で, 学校への行きしぶり, 仲良しグループから, はずされたなど出され, 早い時期に解決している。子供が食べない悩みの中で, 学生時代から朝食を食べない習慣の父母のことや, 食事作りの時, 仕方なくテレビを見せる(1日3時間以上)など, 沢山の事が見えて来た。今後知恵や工夫を出し合って, 子供が育つ家庭生活のあり方を考える, 学びあいに行きたい。</p>

	<p>③から話し合いの中で、意見(自分の考え)を出す、他者の意見を聴くことが上手になる。幼稚園や小学校の役員を積極的に引き受けるお母さんが多い。</p>
--	--